

Job: 墨田区議会議員

Name: 坂井ユカコさん

今の年齢だからこそ
高齢者も若者も
どちらにも寄り添える

PCとOA機器が置かれた、簡素な事務所。「消防団をはじめ、地域活動で区内を飛びまわっているの、ここにいる時間はほんのわずかです」

坂井さんのプチ経歴

- 20代 カー用品販売会社に入社。
6年後、関連商社に転職。
- 30代 友人と自動車用品メーカー
を起業。結婚を機に退職し、
上京。出版社に入社。
- 40代 不妊治療をあきらめる

★ここが転機!

'11年、墨田区議選に立候補
するも、残念ながら落選。
'15年、2度目の挑戦で
墨田区議会議員に。



(右)「住民の皆さんとの会話はノートにメモ。井戸端会議から政策のヒントをいただくこともあります」。(中)住民への活動報告は、自主製作の「ユカコ通信」で。(左)日ごろ愛用するのはハンカチではなく、地元の町会からいただいた手ぬぐい!

今

思えば、政治の世界を知らなかったからこそできた無謀な挑戦。初出馬について、そういつて笑う坂井ユカコさん。ハキハキした物言いに、張りのある声、明るい笑顔。なるべくして政治家になったように思えるが、転身を後押ししたのは夫だったという。

「子供が欲しくて数年間治療を続けたが、授からなくて。治療をやめた途端、胸にぽっかり穴が開いてしまったんですよ。まさに空虚な日々!」

最初の就職先では辣腕営業ウーマンとして名を馳せ、起業後は寝食忘れて仕事に没頭。常にエネルギーッシュに進んできた坂井さんを知る夫には、当時の彼女の姿がせつなく思えたのだろう。打ち込めるものを探した末、夫が提案したのが、区議会議員への挑戦だった。「なぜ政治家だったのかはわかりません。でも、懸命にならざるをえない仕事が目の前にあれば、無我夢中でやるに違いないと踏んだんでしょね」

初めは躊躇していた坂井さんだったが、もともと地域活動に積極的だったこともあり、「よし、やってみよう!」

という気持ちに。'11年に墨田区議選に立候補、1724票を獲得するが、惜しくも20票差で落選してしまふ。

「これだけのかたの負託をいただいたのだから引き下がるわけにはいかない」と、より思いを強くした坂井さん。出身は愛媛県だが「この街がとにかく好きになって」、次の選挙への出馬を決意。時間が比較的自由になるファーストフー店でアルバイトをしながら、地域活動に勤しみ、政治の勉強をし、地元住民の声に耳を傾ける日々を4年送った。そして昨年、見事初当選を果たす。

「議会で提案したことが事業として進んでいったときにはプレッシャーも感じましたが、自分の言動が地域の皆さんの生活にダイレクトに返ってくるので、非常にやりがいを感じています。夫の読みどおり、がむしゃらに取り組んだ結果、初当選した昨年は休みがゼロに(笑)。もっと若いときに挑戦していれば……と思うこともあります。住民の心に寄り添うには、若者と高齢者、どちらの気持ちも理解できる今の年代がベストだったのかもしれない」



事務所の前で当选証書を持って。任期は残りあと2年半ほど。次の選挙でも、また立候補したいと考えている